

2030年展望とエイジング・イン・プレイス

Perspective of 2030 for Aging in Place

国土交通省 国土交通政策研究所

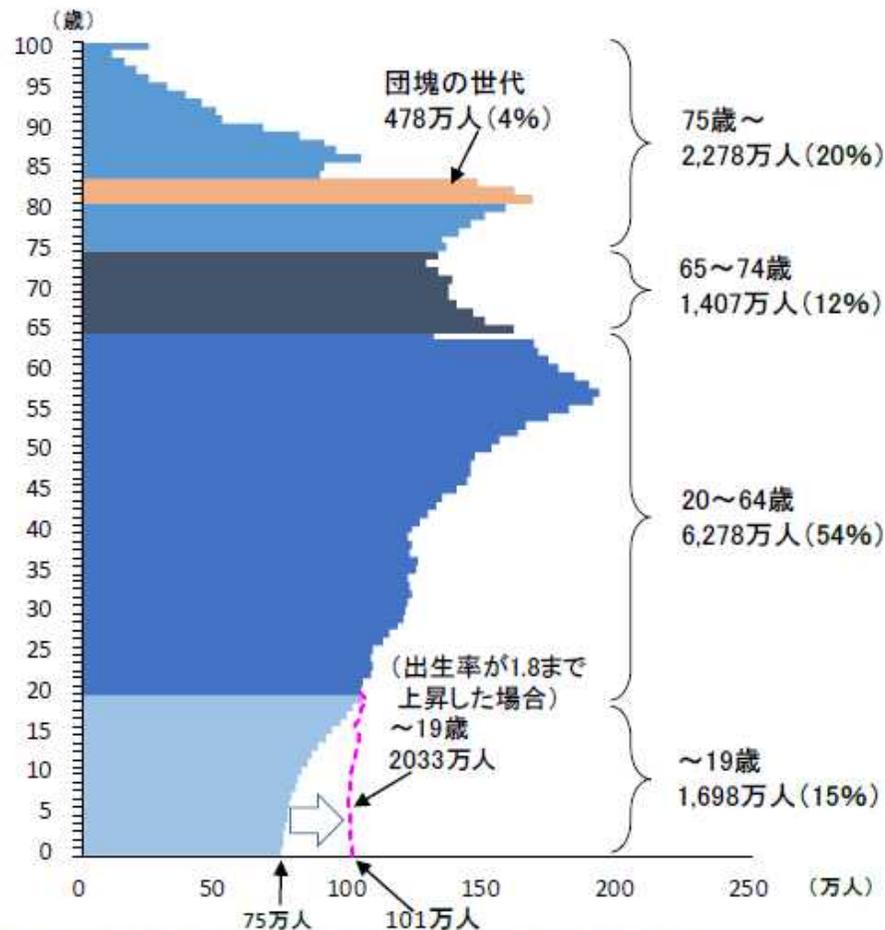
副所長 岩瀬 忠篤

2017年12月12日

1 2030年の社会経済の展望

(1)日本の人口・経済

図1 2030年の人口ピラミッド



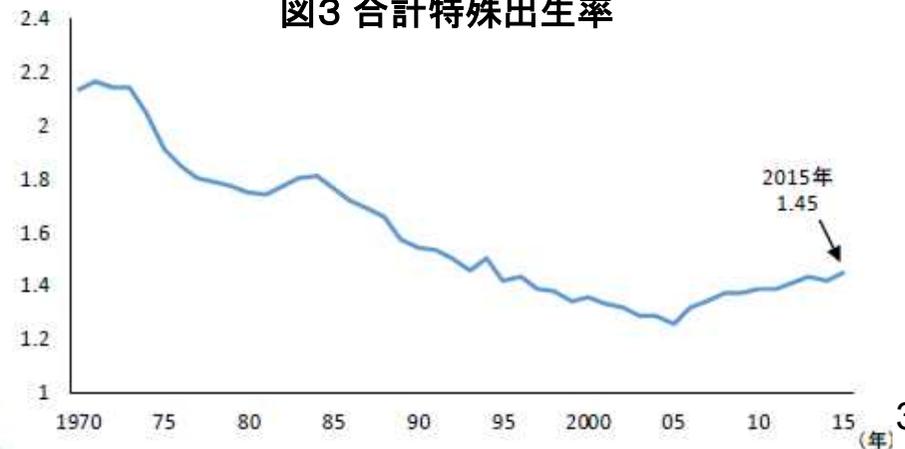
(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口(平成24年1月推計)」、まち・ひと・しごと創生本部事務局推計値により作成。
 (注) 合計特殊出生率が2030年に1.8まで上昇する場合の～19歳は、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(平成26年12月27日閣議決定)における推計値。その他の数値は、国立社会保障・人口問題研究所の中位出生、死亡中位ケースの値。

図2 出生数の推移



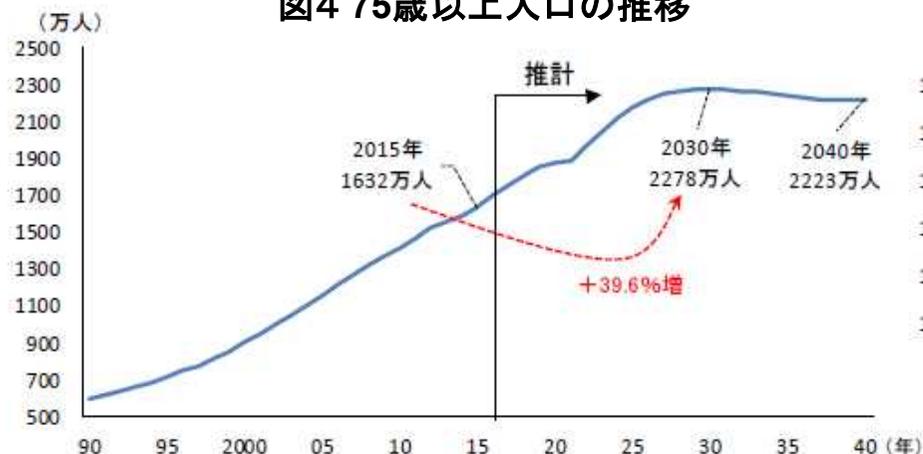
(出所) 厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口(平成24年1月推計)」、まち・ひと・しごと創生本部事務局推計値により作成。
 (注) 2017年以降は各年0歳人口で代用。出生率上昇ケースは、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(平成26年12月27日閣議決定)における推計値。1944～46年は資料不備のため線形補完。

図3 合計特殊出生率



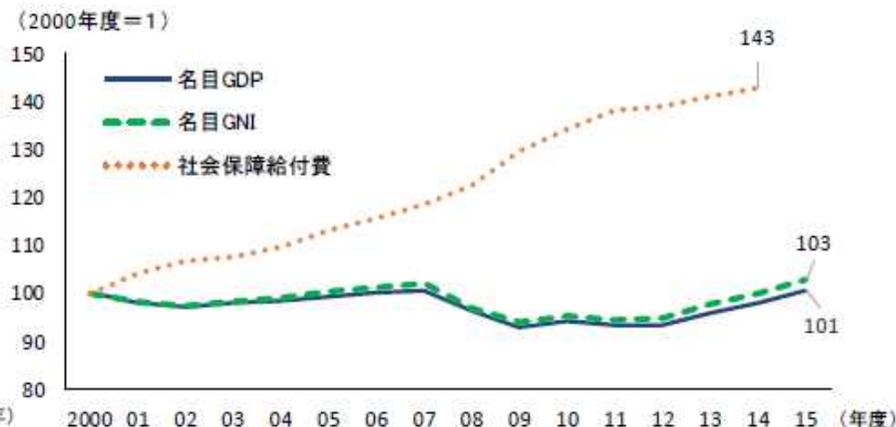
(出所) 厚生労働省「人口動態統計」により作成。

図4 75歳以上人口の推移



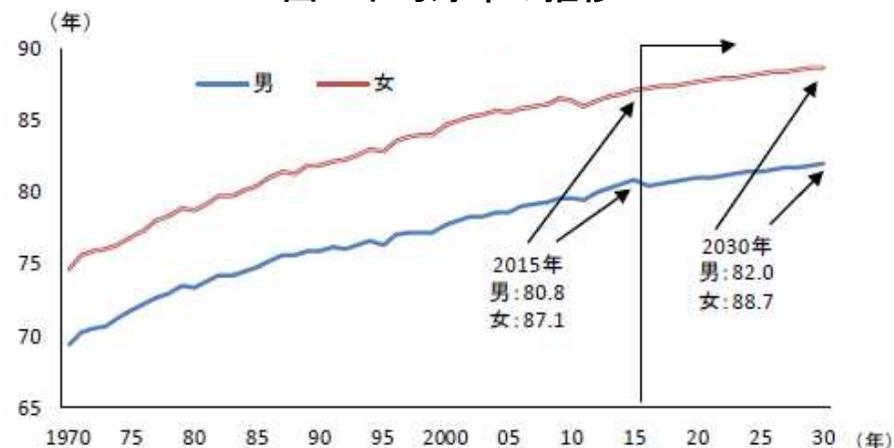
(出所)総務省「国勢調査」、「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」により作成。(注)1. 2016年は概算値。2. 75歳以上人口は、この後、2040年に反転し、2053年に2408万人と再度ピークを打つ見込み。

図6 名目GDPと社会保障給付費の推移



(出所)内閣府「国民経済計算」、国立社会保障・人口問題研究所「社会保障費用統計」により作成。

図5 平均寿命の推移



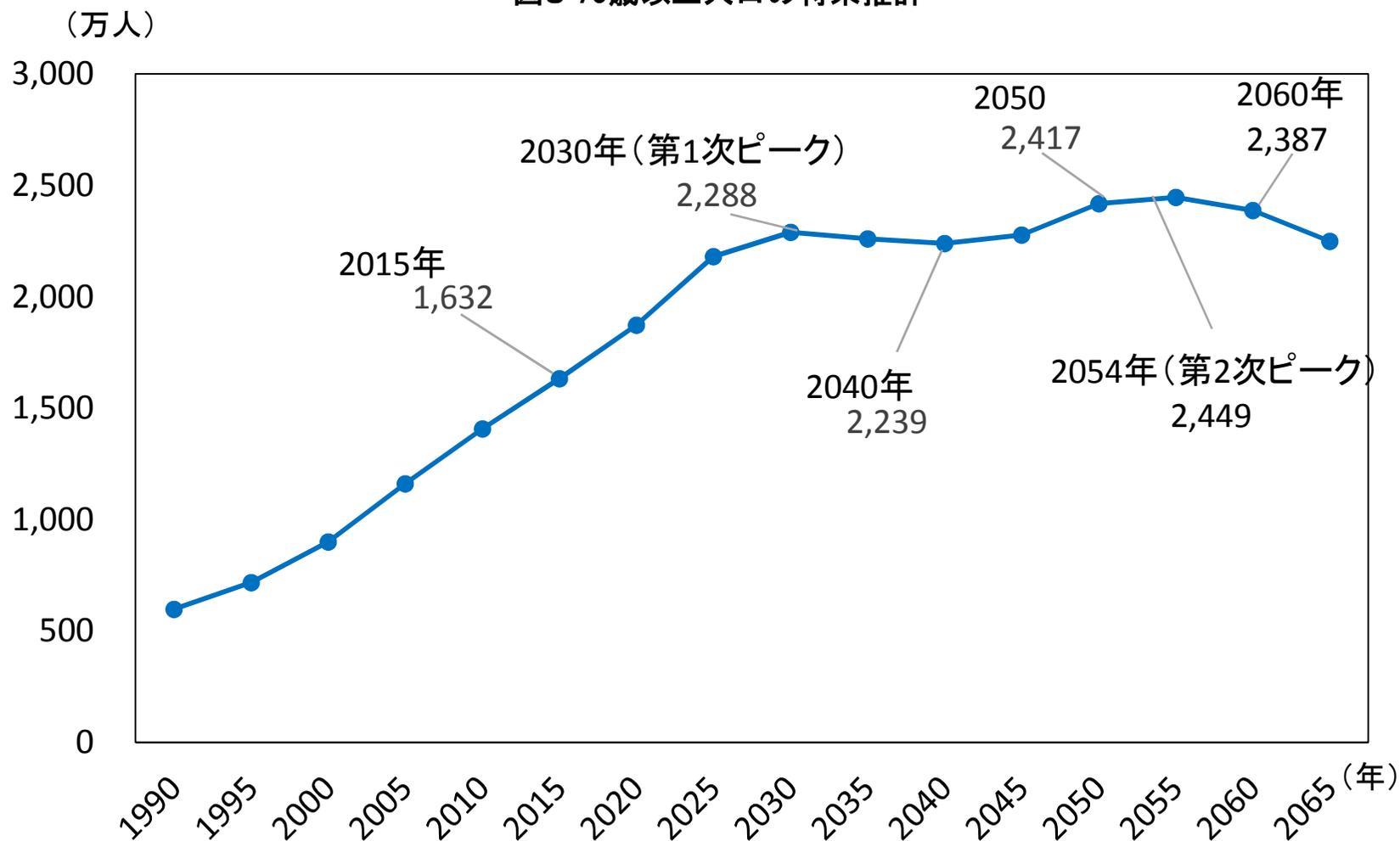
(出所)厚生労働省「平成27年簡易生命表」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」により作成。(注)2016年以降は中位仮定。

図7 認知症に関する予測



(出所)二宮他(2014)「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業)、佐藤他(2015)「わが国における認知症の経済的影響に関する研究」(厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)により作成。(注)認知症者数は、65歳以上。認知症有病率が上昇するケース。

図8 75歳以上人口の将来推計



(出所) 総務省「国勢調査」、「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年4月推計)」により作成。

図9 民間機関の実質GDP 長期予測

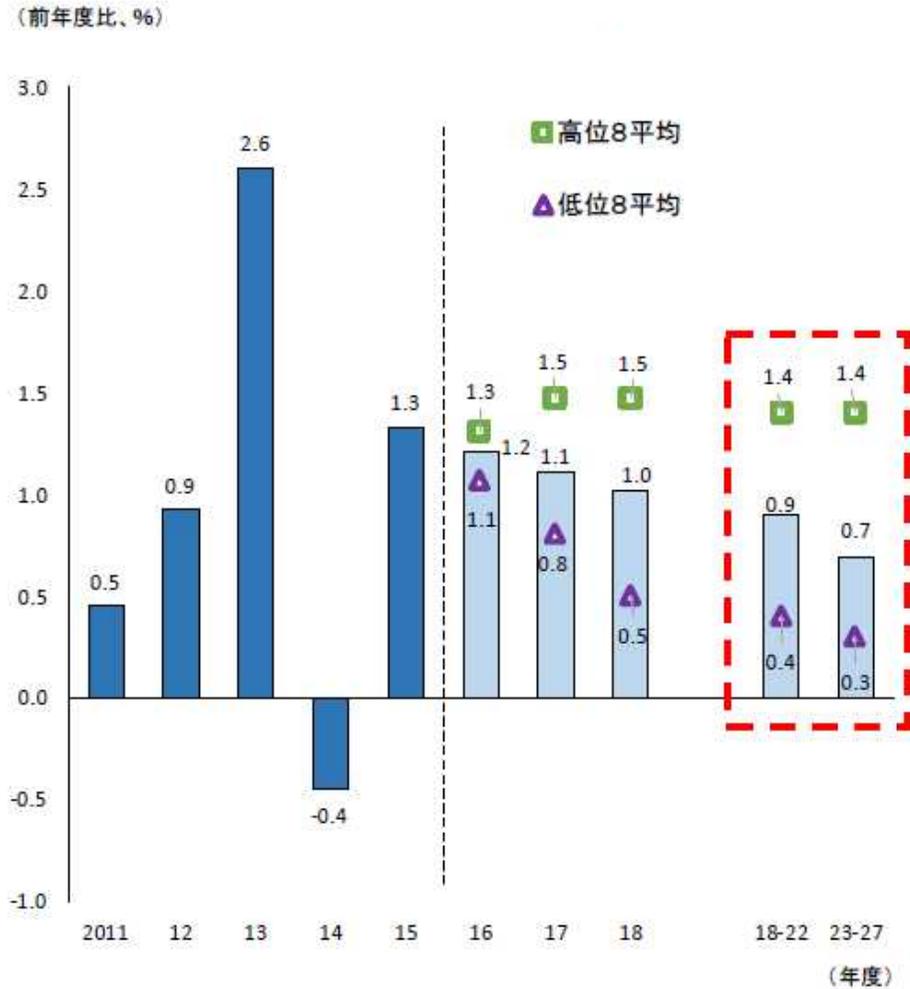


図10 日本企業の期待成長率の推移 (今後5年間の実質GDP見通し)

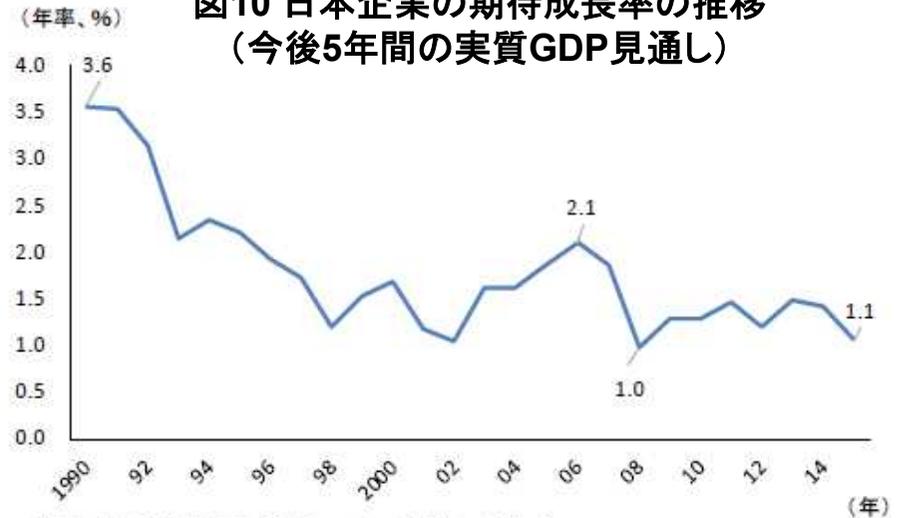
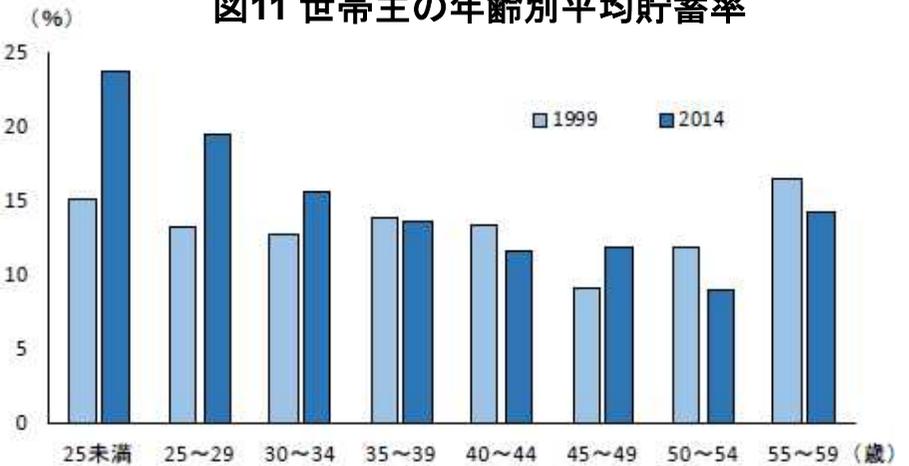


図11 世帯主の年齢別平均貯蓄率

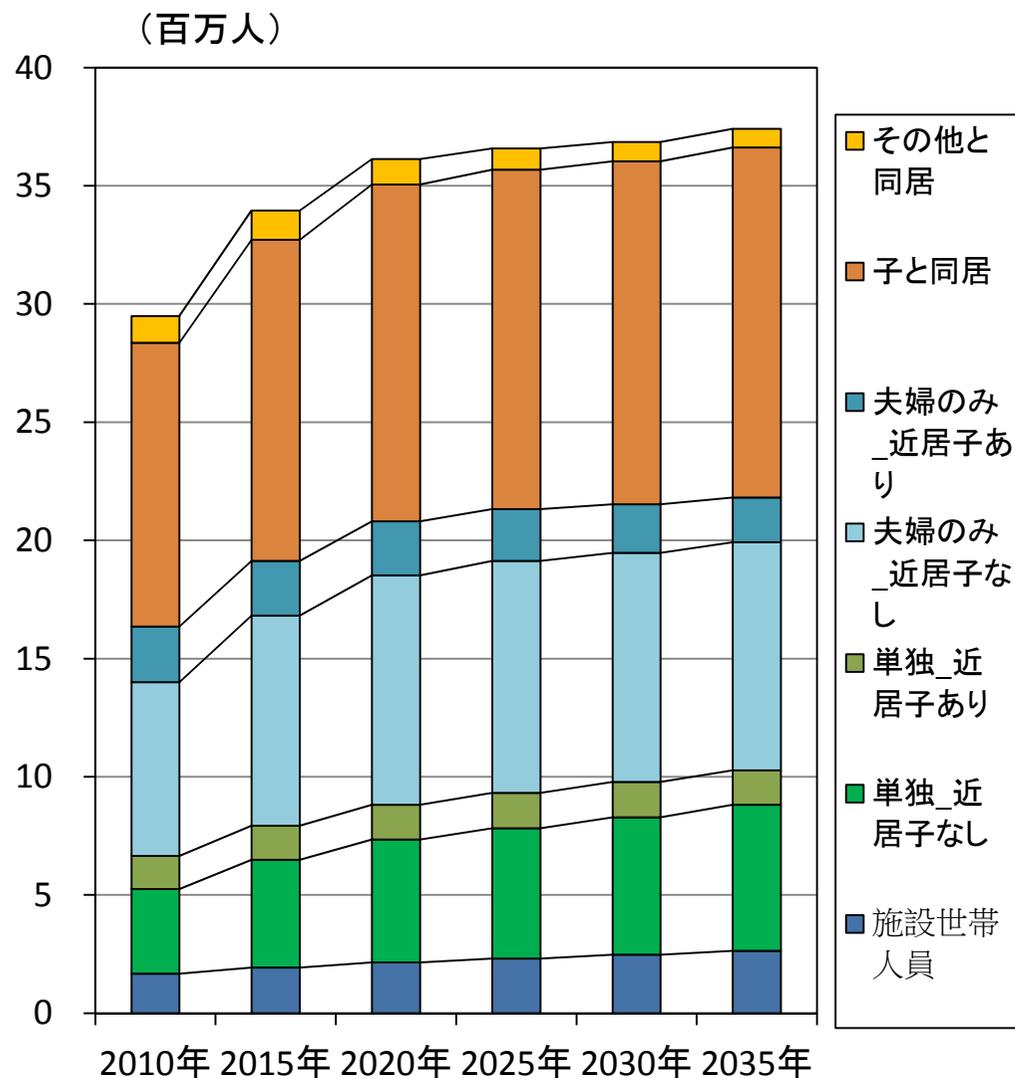


1 2030年の社会経済の展望

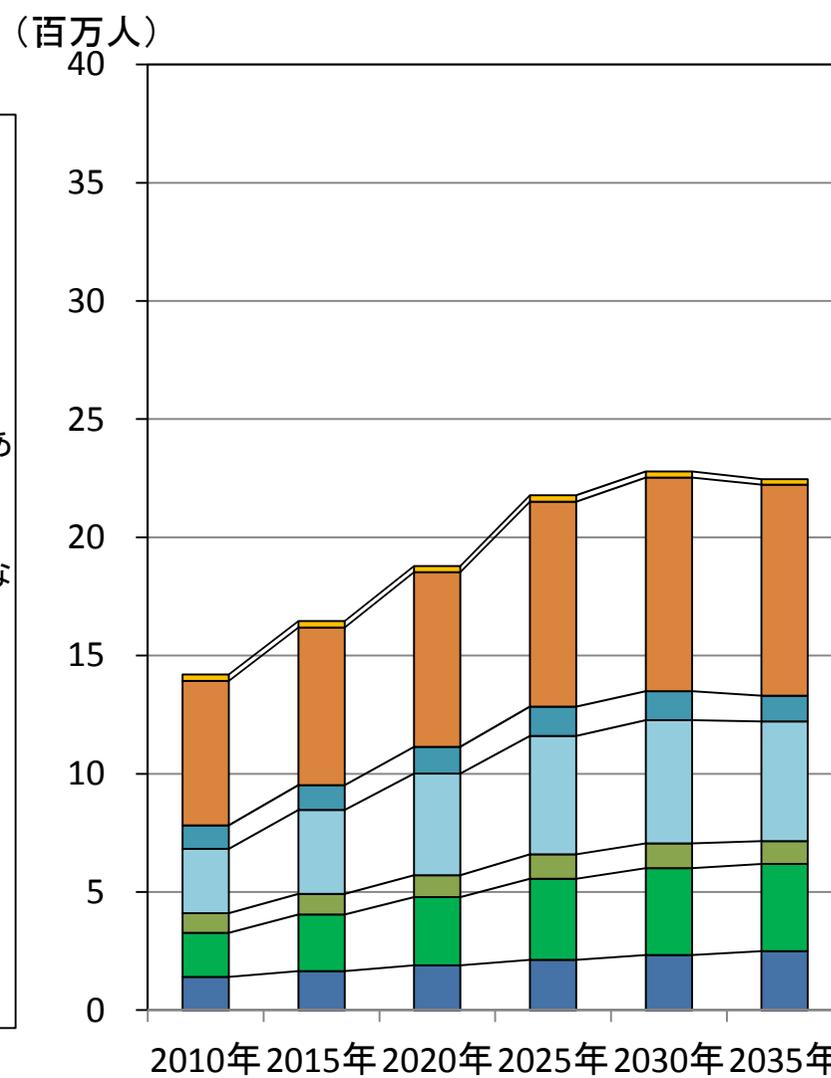
(2) 高齢者の居住状態の将来推計

高齢者の居住状態の将来推計①(実数)

65歳以上人口



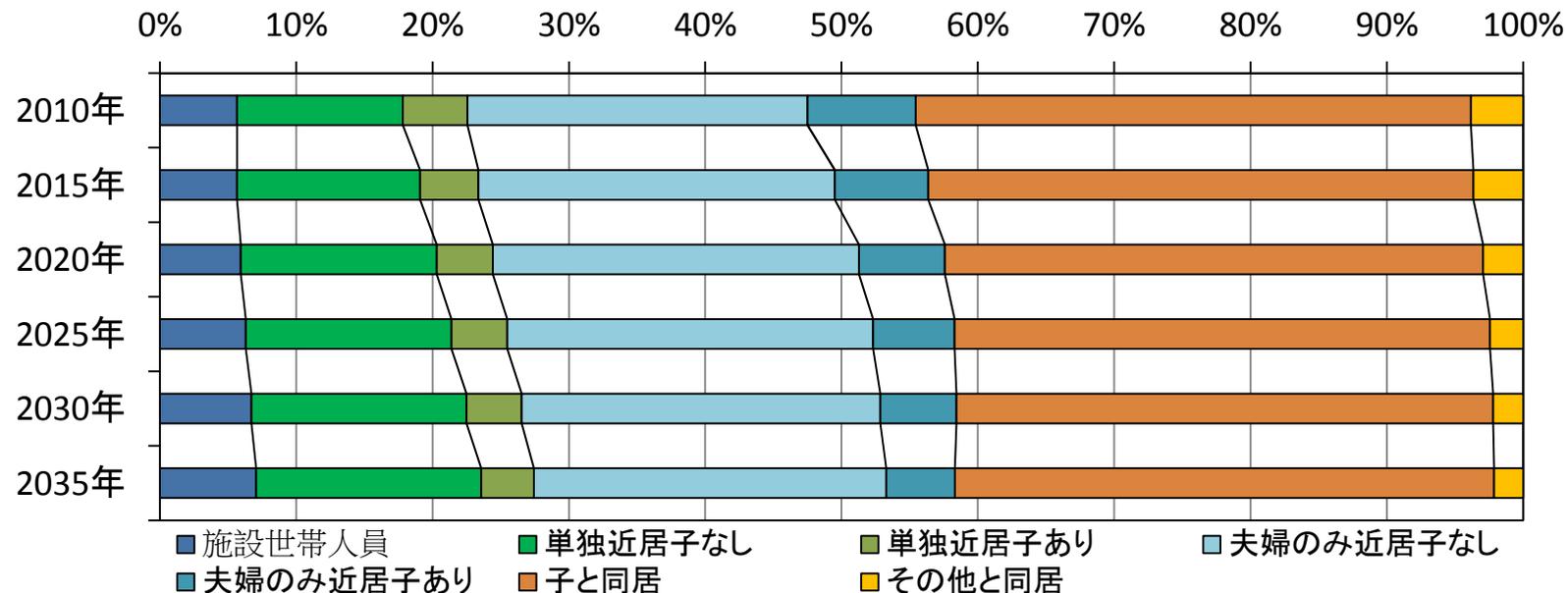
75歳以上人口



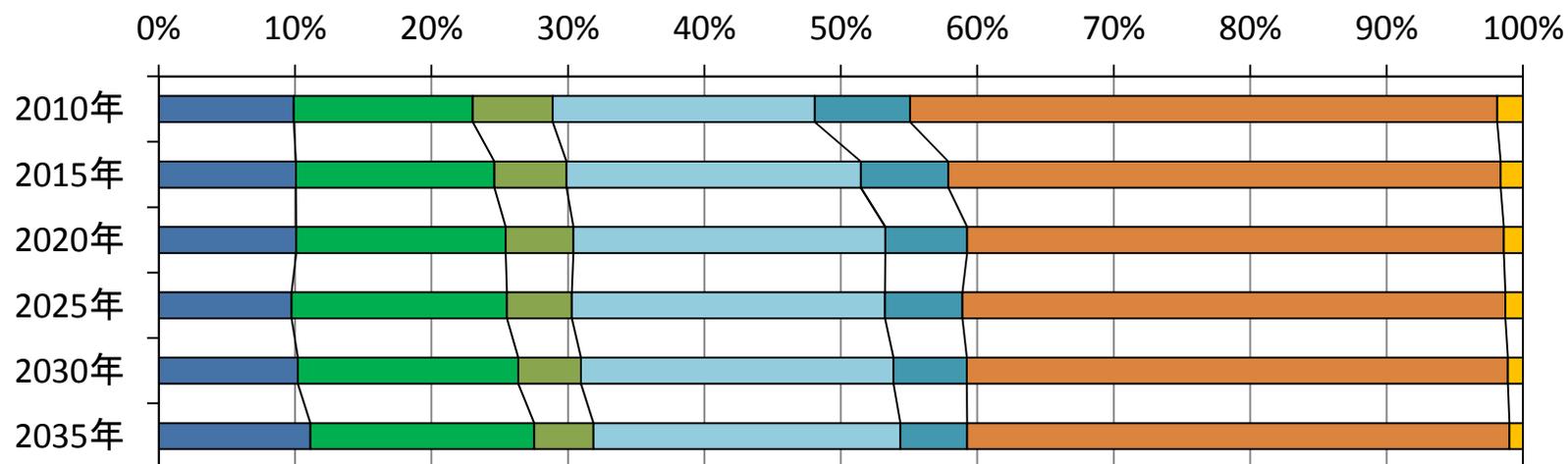
(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「高齢者の居住状態の将来推計(2017年3月推計)」により作成。

高齢者の居住状態の将来推計②(構成比)

65歳以上人口



75歳以上人口

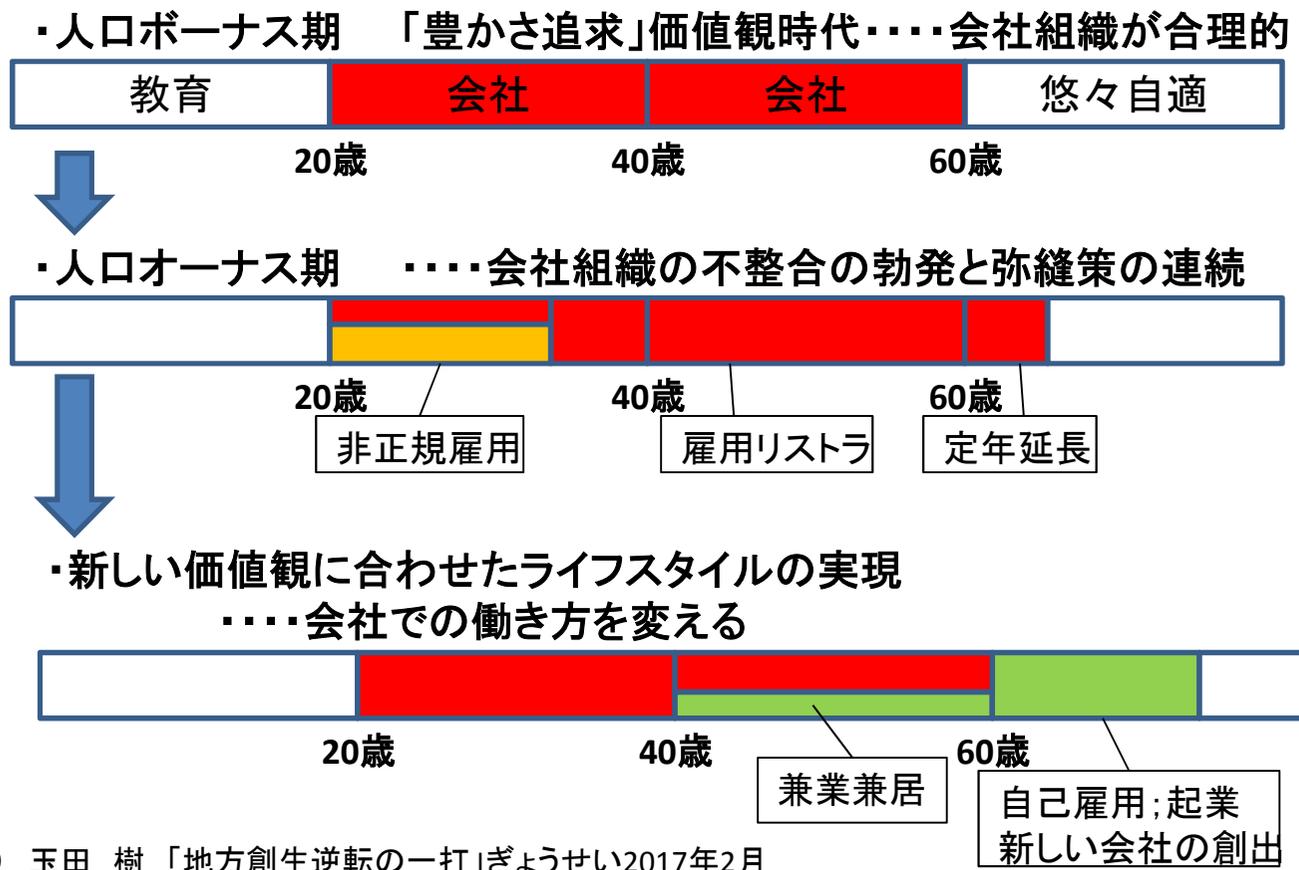


(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「高齢者の居住状態の将来推計(2017年3月推計)」により作成。

1 2030年の社会経済の展望

(3) ライフスタイルの変化

働き方改革が始まった 二地域居住による兼業・兼居社会をつくる



(出所) 玉田 樹 「地方創生逆転の一打」ぎょうせい2017年2月

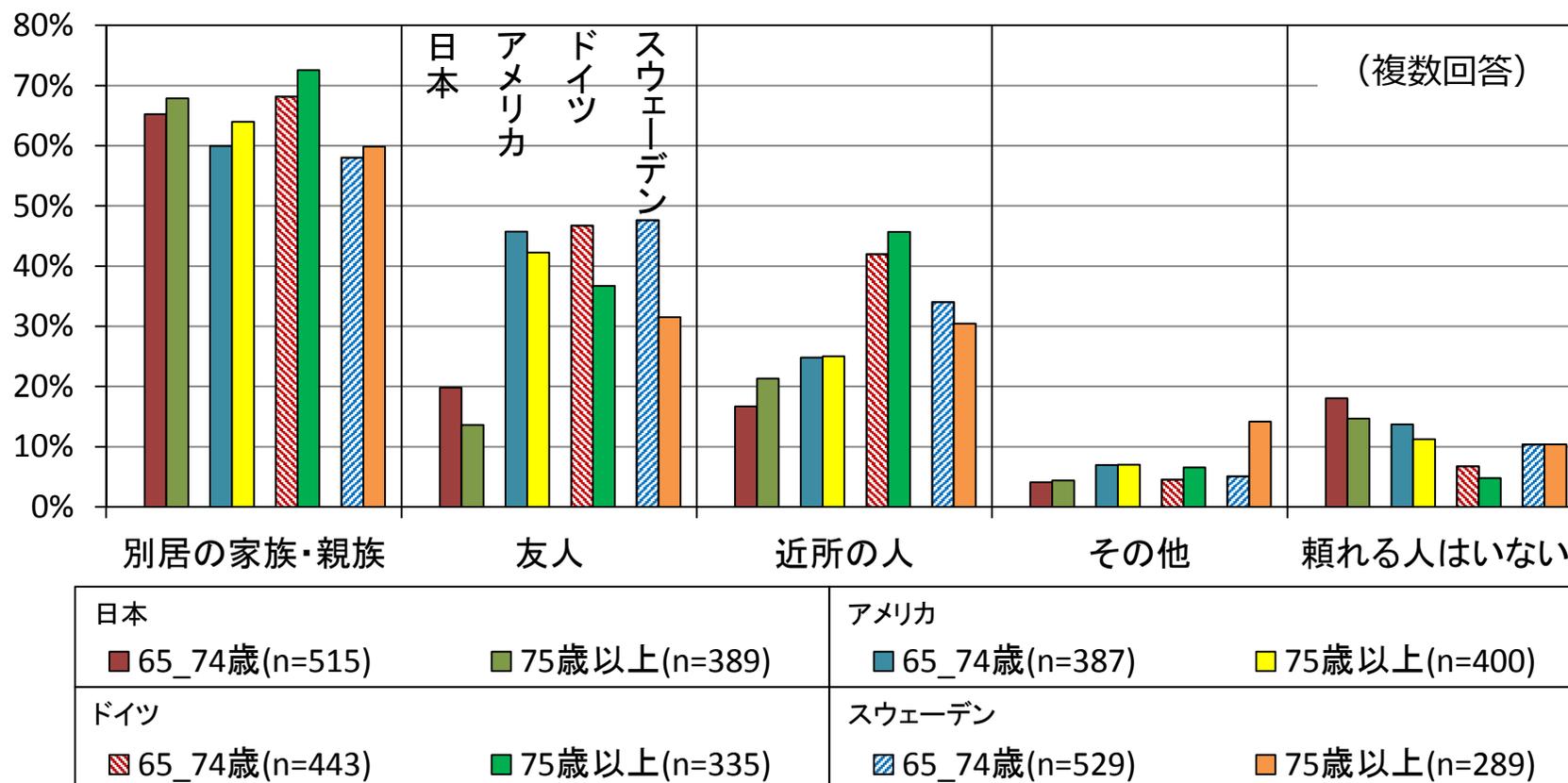
2 高齢者の生活と意識に関する国際比較

(1) 社会とのかかわり

ー日本、アメリカ、ドイツ、スウェーデン

①同居の家族以外に頼れる人

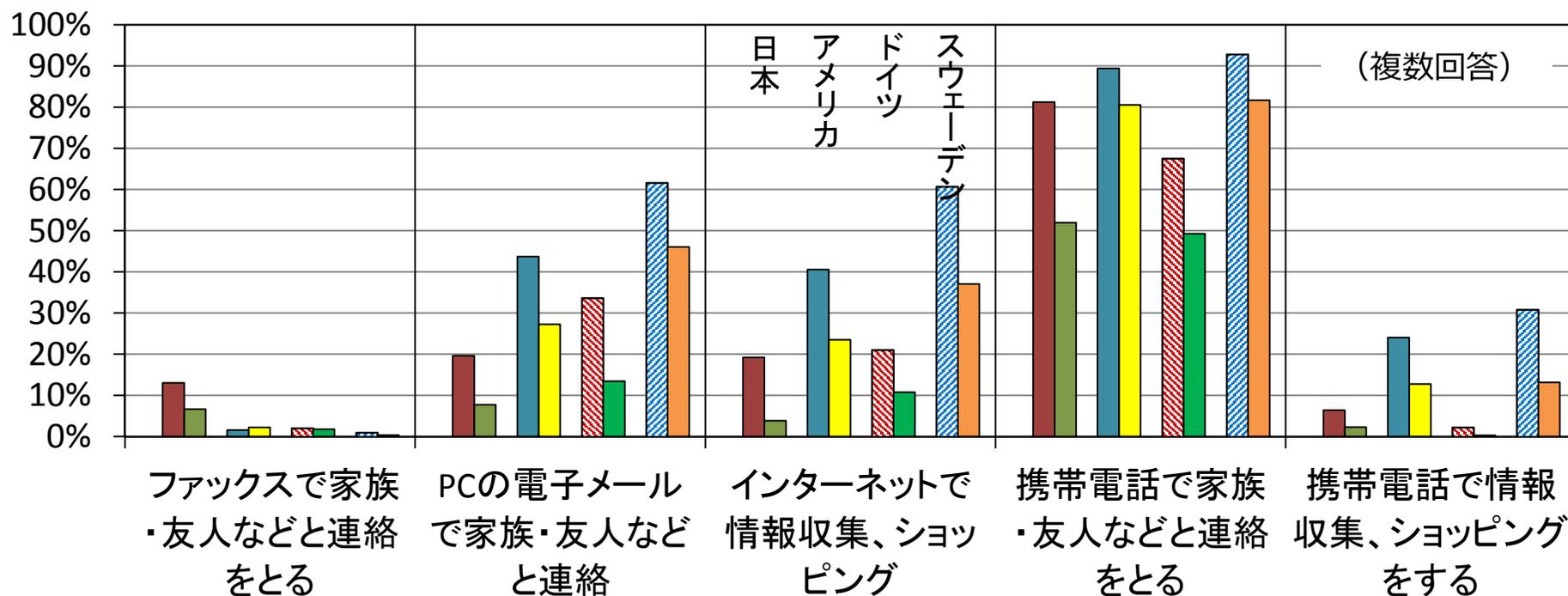
Q あなたは、病気の時や、一人ではできない日常生活に必要な作業（電球の交換や庭の手入れなど）が必要なおとき、同居の家族以外に頼れる人がいますか？



(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」

②情報機器の利用状況

Q あなたは、情報機器を使って、家族や友人と連絡をとったり、情報を探したりしますか？



日本 ■ 65_74歳(n=515)	■ 75歳以上(n=389)	アメリカ ■ 65_74歳(n=387)	■ 75歳以上(n=400)
ドイツ ■ 65_74歳(n=443)	■ 75歳以上(n=335)	スウェーデン ■ 65_74歳(n=529)	■ 75歳以上(n=289)

(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」

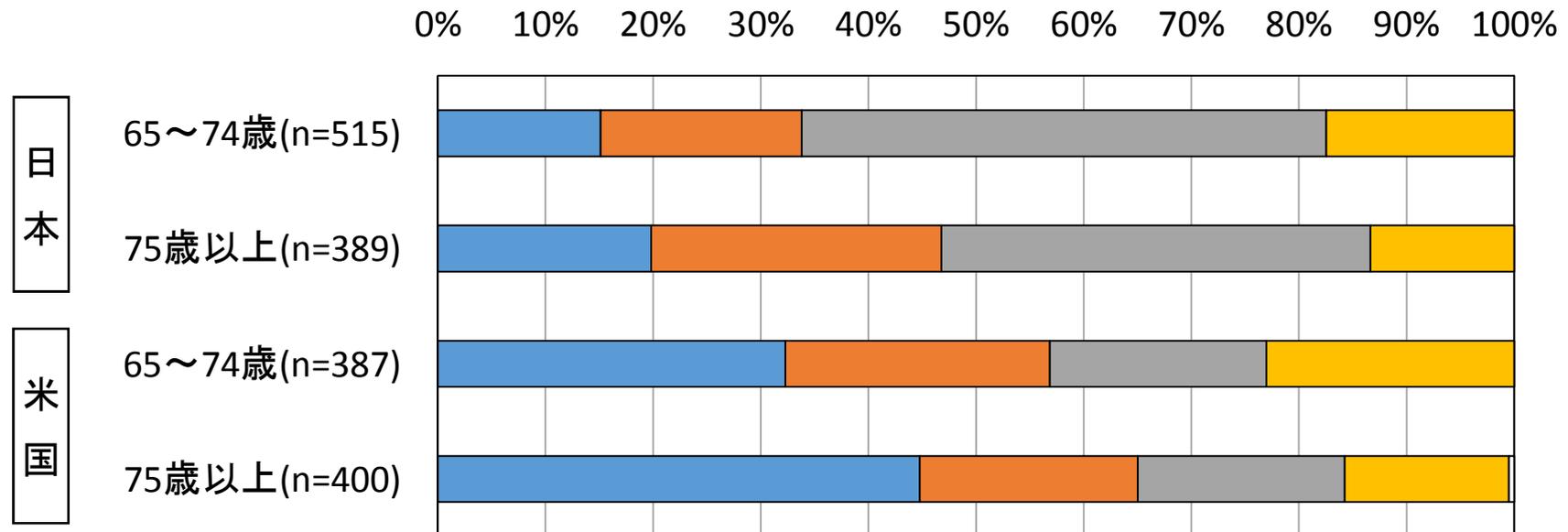
2 高齢者の生活と意識に関する国際比較

(2)住宅・生活環境

－日本、アメリカ

① 身体機能が低下した場合の住宅の住みやすさ

Q もし、あなたの身体の機能が低下して、車いすや介助者が必要になった場合、あなたの住宅は住みやすいですか？

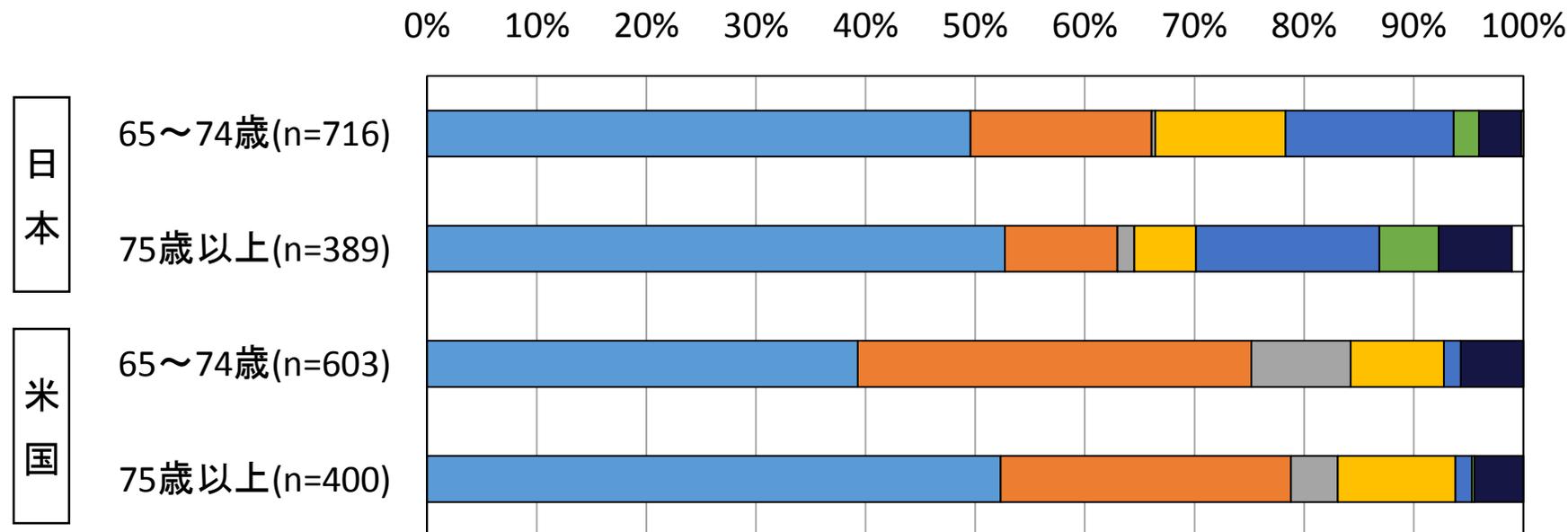


■ 住みやすい ■ まあ住みやすい ■ 多少問題がある ■ 非常に問題がある □ 無回答

(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」により作成

② 身体機能が低下した場合の住宅

Q もし、あなたの身体の機能が低下して、車いすや介助者が必要になった場合、自宅に留まりたいですか。それともどこかへ引っ越したいですか？

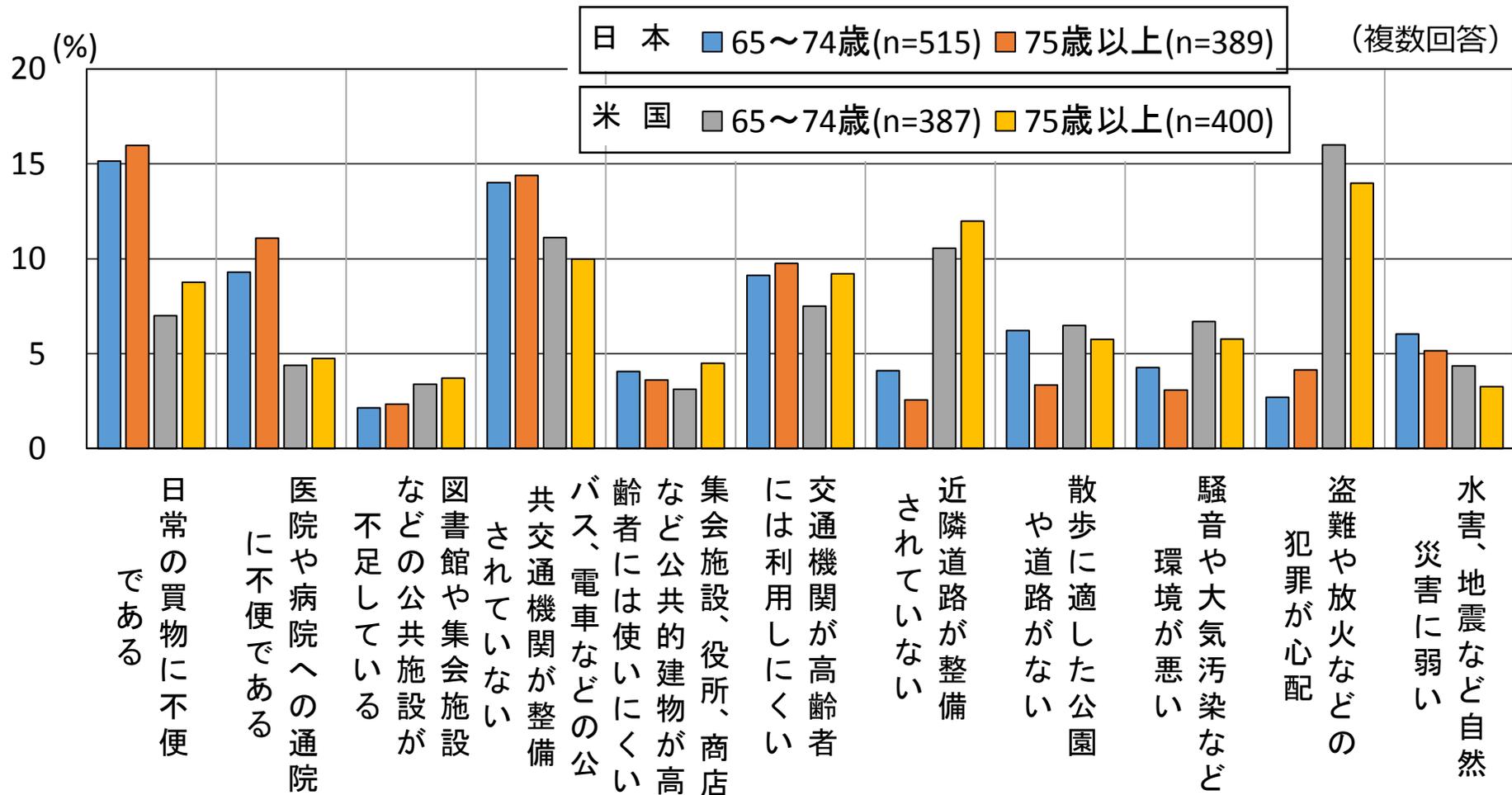


- 現在のまま、自宅に留まりたい
- 改築の上、自宅に留まりたい
- 子供の住宅へ引っ越したい
- 高齢者用住宅へ引っ越したい
- 老人ホームへ入居したい
- 病院に入院したい
- その他
- 無回答

(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」により作成

③地域の問題点

Q あなたがお住まいの地域では、どのような問題を感じていますか？

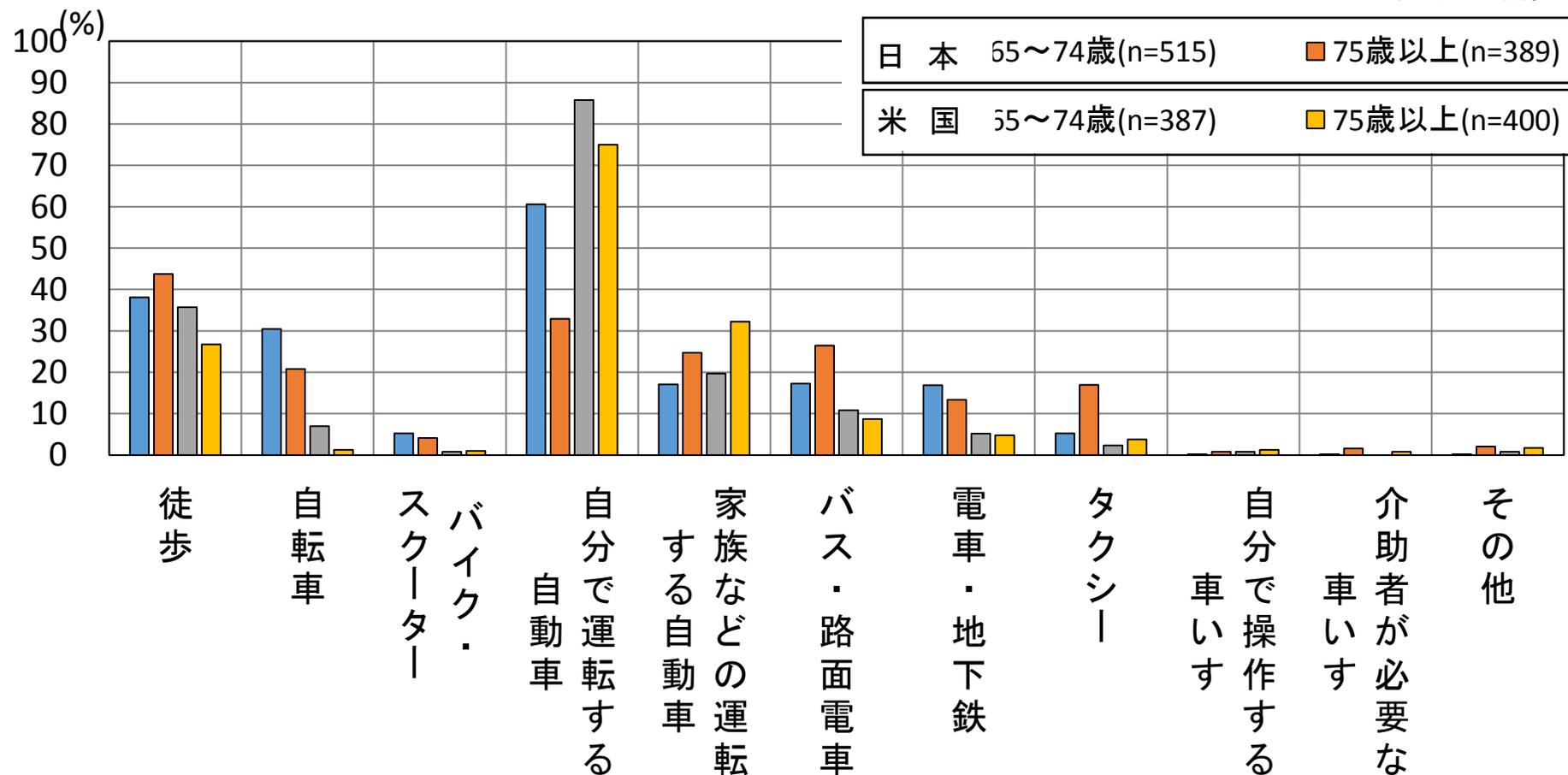


(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」により作成

④外出するときの利用手段

Q あなたは、ふだん外出する時に何を利用しますか？

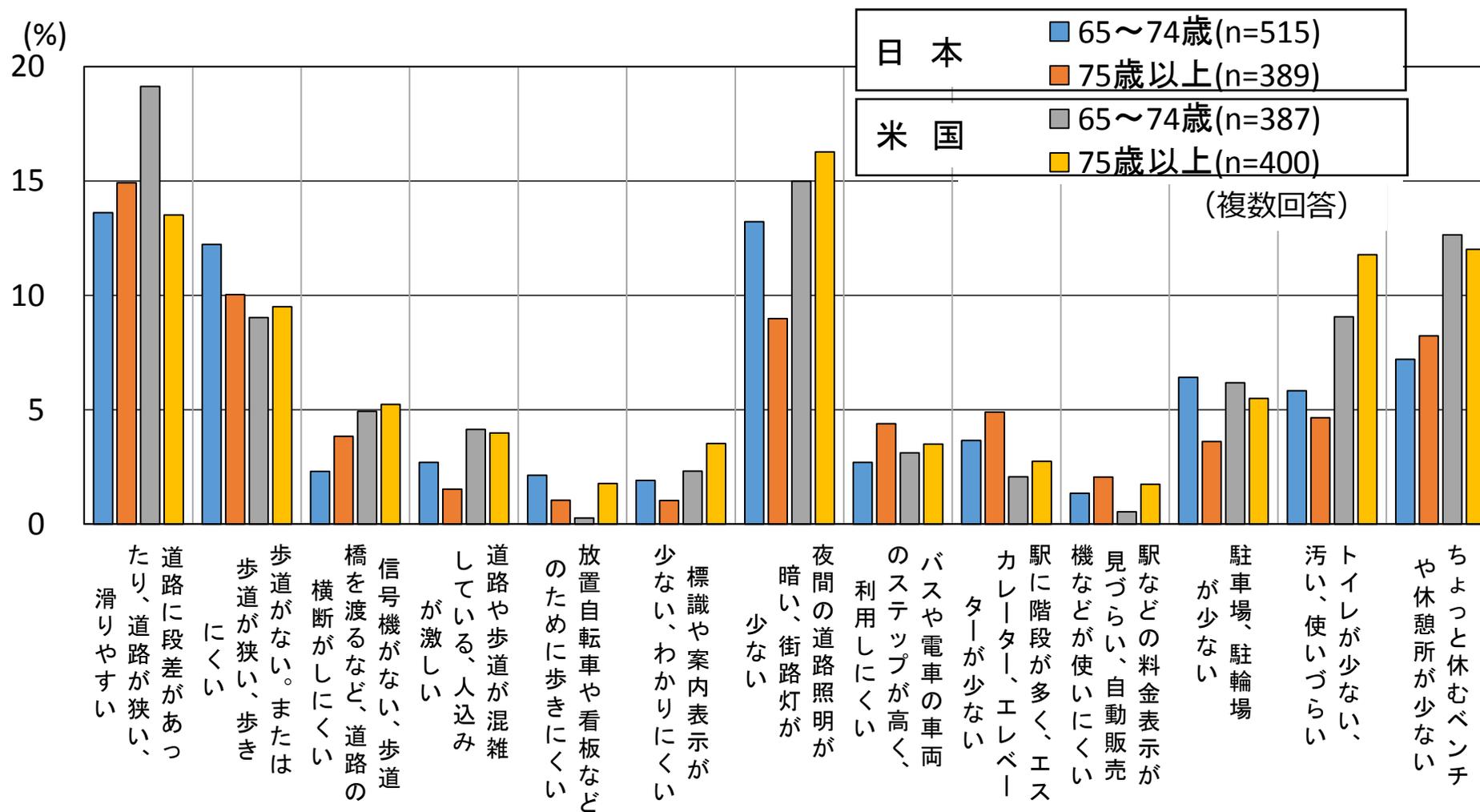
(複数回答)



(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」により作成

⑤外出するときに気になる点

Q あなたは、外出するにあたって不便に思ったり、気になったりすることがありますか？



(出所) 内閣府「高齢者の生活と意識国際比較調査(第8回、2015年3月)」により作成

3. 国土交通政策研究所における調査 研究の状況

民間事業者による高齢者の外出促進

○背景・目的：

出歩きの機会と移動手段の提供による高齢者の外出不安の解消

○事業の概要

- ・健康講座、予防体操など、出歩ききっかけになるイベントを開催。イベント後に、買い物などの立ち寄りも可能とする。
- ・自宅から会場までのスタッフによる付き添い・車両での輸送・現地での見守りと、買物品の配送を支援

○進捗状況：**2017年10月に多摩ニュータウンで実証実験を実施**

利用者へのヒアリング結果

- ・出歩きの支援があることで、積極的に外出しようとする人が多い
 - ・イベントだけでなく、参加者同士やスタッフなどとの会話を楽しめたとの感想も
- 移動支援のニーズについて住民アンケート実施→現在分析中

○今後について：

アンケートやヒアリングの分析を踏まえ、外出促進のあり方について自治体等と検討

